



新 聞
Vol.2
12月号
2021年

かえる

栃木 鹿沼 高校生の地域活動を伝えるフリーペーパー

栃木県鹿沼市には「自分をかえる、地域をかえる」を合言葉に活動している高校生たちがいます。活動する高校生たちは自分たちを「かえる組」と名乗ります。かえる新聞は、そんな高校生たちの地域活動や日常をまとめて、お伝えしていきます。きつとかえる組の姿が地域の未来の姿。どうぞ、お楽しみください。

ISSUE 今月の記事◎新しい鹿沼へのスタート/鹿沼で「集まる」を考える/鹿沼ブランドを広める/鹿沼の秘密/活動を見守る地域の大人たち②/将来への力の源に/笑顔のタネ



鹿沼の未来について考える人

無料 TAKE FREE

未来へのエッセイ
FOR FUTURE

将来への力の源に

こんにちは！かえる組副組長のまりあです！副組長はかえる組の活動の副リーダー的な立場ですが、はじめは、私に副組長なんて務まるのかなと不安でした。けど、明るくフレンドリーなかえる組の仲間達のおかげでも楽しく活動することが出来ました！活動していく中で、みんなが一つの目標に向かって一緒に頑張るといふことはこんなに素晴らしいことなんだと実感しています。副組長として、今後、皆をまとめる力、人前で発言する力など将来の自分に役に立つような様々な力を身に付けたいと思っています！そしてその力を他の仲間たちに教えられる、お手本になれるように成長していきたいです！組長をしっかりと支えながら、常に周りを見て、かつ頼れる！そんな副組長にもっと素敵な仲間達をもっともって素敵な鹿沼を創り上げていきたいです！一緒に頑張ろうね！と素敵な鹿沼を創り上げていきたいです！一緒に頑張ろうね！



ABOUT
かえる舎のこと
KAERU-SHA

笑顔のタネ

はい、どうも、生徒たちの活動を支援しているかえる舎です。よろしくお願ひします。12月と言えば、日本一の漫才師を決めるM-1の季節ですね。いやあ、やっぱり漫才っていいですね。漫才には「マイナスをプラスにかえる力」があると思うんです。ちょっと恥ずかしい失敗談だって、漫才にすれば、みんなが笑ってくれるネタになります。いわゆる「オイシイ」です。この視点は高校生たちと地域で活動をする時も大事にしています。地域の課題とされることも、見方を変えて工夫すると誰かが笑顔になってくれる活動のタネになるかもしれません。地域のタネを、ネタに変えて、笑顔の花を咲かせる。そんなほっこりする活動を生徒たちと一緒にできれば最高だと思うんです。なので、ゆっくりでも、鹿沼の笑顔溢れる未来に向けて一歩ずつみんなで進んでいきましょう。



募集

一緒に活動してみたい高校生は、Instagramのダイレクトメッセージに氏名、学校、応募動機を添えて連絡ください。



Instagram

特定非営利活動法人 かえる舎
〒403-0009
山梨県富士吉田市富士見1丁目1-5
<http://kaerusha.jp>



WEB

かえるメモ④...かえる新聞の編集も生徒達がやっています。誰に、いつまでに、どんなことを書いてもらうか考え、まとめて、みなさんにお届け！



考える、かえる組

ACTIVITY REPORT

新しい鹿沼へのスタート

組長の奏海です！私から第2回の活動報告をさせていただきます！

11月の活動の全体の感想

今回は鹿沼のために何ができるか考える回でした。初めて顔合わせをした1回目と比べて、みんな少しずつ話せるようになったなあと感じました！しかも今回は楽しいゲームを挟みながらの活動だったので、今まで見たことのない表情が見れてとても面白かったです！👀頭を使った作業も多く、みんなで和気あいあいとチョコレートを食べている所もキュートでステキでした！

グループワークの感想

鹿沼で何ができるか、発想練習から企画を考えるとどこまでをやってみて、行き詰まった部分もあったけれど、大人の方々の手助けもあり、濃いや意見を出し合っていました。みんな

な、いい刺激を受けられたんじゃないかなと思います！企画書も作成していて、出た意見を組み合わせる面白企画を考えてみたい、カードを使ったゲームで発想を練習して、考えを膨らませていったりと、工夫しながら作成していく工程がとても良かったなと感じました！

次回の意気込み

次回は待ちに待った中間発表です！

自分たちで考えた意見を発表するのはもちろんのこと、他のグループが考えたアイデアを聞くのが本当に楽しみです！みんなからもらった意見を活かして、アイデアにもっと磨きをかけていけたらいいな！そうしてこの活動を通してさらに仲が深まったら組長かなり嬉しいですよ！次回も気合を入れて頑張っていきたいと思います！🔥

発想練習ワーク

ACTIVITY REPORT

鹿沼で「集まる」を考える

かえる組編集部のみなさんです！かえる組2回目の活動では鹿沼をどう変えていきたいのか、というテーマで企画書を作成していききました！企画書立案のために各テーマごとに分かれてきました。私のグループは「集まる」というテーマを題材に話し合いをしました。率直な感想：難しすぎました！(笑)集まるといえば、地元の人との交流？じゃあどこで？鹿沼でも問題になっている空き家？じゃあ空き家を使って地元の人と交流をしよう！え、でも空き家ってめっちゃお金かかるよね？あれ、どうしよう…。という繰り返しでした(笑)正直どうしようという気持ちばかりでしたが考えを深めていくうちに鹿沼で問題になっている空き家が解消されるし、地元の人との交流の場にもなる！とだんだんと達成感と期待感が増加していきました。今後の活動でもっと発想を豊かにしていかに地元の人を楽しく、笑顔になれる街づくりができるかを探究していこうと思っています！

地域でつくる

ACTIVITY REPORT

鹿沼ブランドを広める



編集部の奈々です。私たちの班は「鹿沼の特産品を使い、新たな名物をつくらう！」というテーマで企画を考えました。鹿沼の特産品といえばイチゴやこんにゃくが浮かびますが、他にもさつきの舞というお米や梨、トマトなど多くの美味しい農産物が鹿沼ブランドに認定されています！鹿沼ブランドとは一言で言えば鹿沼の優れた商品のこと。詳しく知りた〜い！という方はぜひ鹿沼市のホームページを見てみてください！♡実現したいと思うことは簡単だけど実際に行動してみるととても難しくみんな頭を悩ませました。けれど、大人の方から多くの意見をもらって段々と形が定まってすごく嬉しかったですし、やりがいめっちゃ感じました！まだまだ課題は沢山あります。班で力を合わせて、大人の方の力も借りて計画も自分たち自身も成長出来たらいいな！

活動写真集

活動を見守る地域の大人たち②

鹿沼市地域活動支援課の原田です。私は行政の立場から活動を支援しています。高校生が地域のことを考える。数十年前に高校生だった私の時代には、あまり言われなかったことです。「自分が経験したことは絶対に忘れない」。これはかつての上司が教えてくれた言葉。活動で出会った生徒達が、企画の実現に向けて取り組む。それぞれの経験が「自分をかえる、地域をかえる」きっかけになります。を信じています。



High School Life 高校生の日常

鹿商工の秘密

副組長のモカです。鹿沼商工高校の文化祭は「華稜祭」と呼ばれ、毎年各クラスがお店を出し、工夫を凝らして盛り上げます。文化祭や開催までの準備を通して、クラスの団結が深まる他、クラスメイトや先生の意外な一面に気づききっかけになります。また、様々な団体の発表の場にもなっており、ダンス部のダンスで盛り上がり、普段は数学を教える先生がバンドや吹奏楽部の一員として参加していることに驚いたり1日中すごく楽しいです！

